

総合科目II 科目群B 100番台

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
II-57	1B02291	現代の文化と文学—「境界線」を超える文学—	1	1.0	1・2	春AB	月1	1C210	吉原 ゆかり	現代の文学は、時代、言語、地域、メディアといった様々な「境界線」を超えた文化現象として生成されている。多言語地域の最新の文学動向や、古典文学と映像、マンガ、ゲームの関係など、テキストの交錯を広く見渡しなが、現代の文学と文化について考察する。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-58	1B03011	日本とは何かI	1	1.0	1・2	春AB	月1	2B507	鈴木 伸隆	日本の国際化や多文化共生社会に対して、我々はどうのように向き合うべきなのか。海外および国内における日本語教育、世界の言語の一つとして日本語を捉えた研究、外国人との日本語コミュニケーションなどを通して、現代日本および日本語の有り様を考える。	(日日開設) 日本語・日本文化類生の履修を認めない。 【受入上限数120名】
II-59	1B04071	政治学入門:時事・政治・政治学	1	1.0	1・2	春AB	月1	1D204	南山 淳	新聞、テレビ、論壇等で話題になっている政治、行政、国際関係などに関する問題を取りあげ、政治学の観点から、理論的・実証的に分析する。	(社会開設) 【受入上限数120名】
II-60	1B06011	学校を考えるI	1	1.0	1・2	春AB	月1	2C404	藤井 穂高, 唐木 清志	学校の生い立ち、社会とのかかわり、学校を支える仕組みなどに視点を当てて、今日学校が抱える諸問題を整理し、そのいくつかについて検討する。	(教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を80名とする。 【受入上限数80名】
II-61	1B17061	経営の科学II	1	1.0	1・2	春AB	月1	3A204	生稲 史彦	企業が製品やサービスを「創って、造って、売る」ために実施している施策、マーケティングを理解するための知識を教授する。学生、社会人として、企業行動を理解できるようになることを目指す。前半でマーケティングの概要を説明し、後半は新しい事例を交えながらマーケティング工学の基礎を説明する。	(社工開設) 【受入上限数120名】
II-62	1B20011	知的財産のしくみ(著作編)	1	1.0	1・2	春AB	月1	ユニオン講義室	長谷川 秀彦	ニュートンが「私は巨人の肩に乗って仕事をした」と言ったように、大発見や科学の進歩は、それまでに蓄積された膨大な知識の上に築かれる。新しい科学的知識は、まず学術雑誌等に論文として発表される。この意味で、学術論文は科学の発展を支える知的財産であり、研究者は価値のある論文を人よりも早く出すことにしのぎを削る。本科目では、研究者が論文を発表し、それが利用され、社会に認定・評価される仕組みについて学ぶ。	(知識開設) 【受入上限数150名】
II-63	1B01011	「知ること」とは何かI	1	1.0	1・2	春AB	月2	共同利用棟A101	千葉 建	学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではない。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。	(人文開設) 【受入上限数120名】
II-64	1B01031	言語の万華鏡I	1	1.0	1・2	春AB	月2	1C210	加賀 信広, 大矢 俊明	高校までに学んだ日本語と英語を異なる視点から再発見する体験を通じ、「語学」と「言語学」の違いを理解するとともに高校までの学習と大学における研究の違いを自覚する。	(人文開設) 【受入上限数120名】
II-65	1B01111	民族の世界I—食文化と民族I—	1	1.0	1・2	春AB	月2	2B411	内山田 康	民族の世界Iでは、とくに日本列島および東アジアの食文化について考察する。私たち人間にとっての生之源である食とそれに関わる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。世界各地の食文化を紹介しながら、「食」をキーワードに民族性やその背後にある文化にまで迫り、他者や異文化、そして自己を理解するための機会としたい。	(人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受入上限数120名】
II-66	1B02261	古典に学ぼう—日本・アジア編—	1	1.0	1・2	春AB	月2	1C310	馬場 美佳	東洋においては、文学、思想、歴史などのさまざまな分野で、数多くの典籍がうみだされ、人類に普遍的な「古典」の地位を獲得してきた。現在「古典」として広く認識されている典籍を味読・分析しながら、文化の問題に迫る。併せて、広く一般の教養を身につけることを目指す。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
II-67	1B04061	社会学入門―「繋がり」の変容を考える	1	1.0	1・2	春AB	月2	1H201	葛山 泰央	社会の諸側面での流動化がますます加速する後期近代と呼ばれる現在、人と人との「繋がり」の様々なあり方が鋭く問い直されている。この授業では、現代において他者との関係のとり方や共同性のあり方が焦点化される一連の主題を手掛かりに、社会的な「繋がり」の現在を検討する。	(社会開設) 【受入上限数120名】
II-68	1B05061	国際学を学ぶI	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A304	中野 優子	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進化する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶI」では、特に、国際政治・国際法、経済学の視角から論じる。総合的な理解を得るために、文化・社会開発、情報・環境学の視点から論じる「国際学を学ぶII」とあわせて履修することが望ましい。	*国際総合学類生の受講は認めない。 (国際開設)【受入上限数120名】
II-69	1B17031	経営の科学I	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A204	生稲 史彦	ファイナンス(金融工学の基礎となる、金融とファイナンスの学問的「常識」を、いくつかの具体的トピックに触れつつ、出来るだけ日常的な感覚として捉えられるように努めながら説明する。)会計学(会計学の導入部分である簿記と、簿記で作成される貸借対照表・損益計算書の読み方・分析方法を解説する。)	(社工開設) 【受入上限数120名】
II-70	1B17041	経済学入門II	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A301	ターンブル ス ティーヴェン	現代社会では携帯電話から進化した「スマートホン」という万能の携帯端末を持って各種ソーシャルネットワーク(SNS)に参加することが普通になった。SNSは人間関係にどんな影響を与えるか?情報ネットワークと交通ネットワークと通信ネットワークなど各種ネットワークの共通点と特徴を明らかにし、社会での役割と効果を考察する。	(社工開設) 【受入上限数120名】
II-71	1B20021	文学と映像作品の中の図書館	1	1.0	1・2	春AB	月2	ユニオン講義室	溝上 智恵子	文学作品や映像メディアに表現された図書館像を通じて、図書館の歴史や現代社会における図書館・図書館員の役割について紹介する。	(知識開設) 知識情報・図書館学類学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】
II-72	1B21201	こころの構造と病理	1	1.0	1・2	春AB	月2	2H201	斎藤 環	心の病から精神の構造を解き明かす精神病理学と精神分析、および天才の創造の秘密を探る病跡学に関する講義。	(医学開設) 【受入上限数350名】
II-73	1B24071	オリンピック	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C216	嵯峨 寿, 真田久	1896年に始まった近代オリンピックは、2020年東京大会で32回を数える。近代オリンピックの歴史において語り継がれるに値する素晴らしい大会にしたいとの思いは多くの日本人に共通する願望だろうが、その実現のために私たちにできることは、まず、オリンピックについてその本質を理解すること。そうすれば東京オリンピックの問題点を把握できるであろうし、改革のアイデアを構想できるかもしれない。	(体育開設) 【受入上限数150名】
II-74	1B25011	デザインと暮らし	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C407	野中 勝利	デザインに何が出来るのか?身近な暮らしや地域社会との関わりから、デザインの可能性、展開、課題を講述する。	(芸術開設) 芸術専門学群学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】
II-75	1B26511	日本の歴史	1	1.0	1・2	春AB	月2	2G205	三谷 芳幸	日本の歴史について、各時代の重要なトピックを取り上げ、学修する。	(人文開設) 履修は、留学生および外国滞在期間5年以上の帰国生徒に限る。平成27年度以前に(7200111)の単位を既に取得している学生は履修不可。 【受講制限数40名】
II-76	1B03511	日本の生活文化	1	1.0	1・2	春AB	火2	2G407	朴 宣美	ジェンダーやマイノリティの視点から、日本の社会と文化を考察・討論する。	(日日開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。平成27年度以前に(7200151)の単位を既に取得している学生は履修不可。 【受入上限数20名】
II-77	1B25511	日本の芸術とその鑑賞	1	1.0	1・2	春AB	火5	5C411	上北 恭史	日本の歴史的な生活様式、宗教、都市にかかわる芸術を通して、日本の芸術の特色を解説する。	(芸術開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。【受入上限数20名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
II-78	1B26521	日本の社会	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	3A203	原田 信行	日本の生活と社会制度を、さまざまな統計資料を通して概説する。具体的には、各回テーマを設定し、日本の特徴をみていく。また、各留學生が出身国の統計資料と比較することにより、日本との一致点や相違点を明らかにする。これにより、日本の社会について理解を深める。	(社工開設) 外国人留學生及び帰国生徒に限る。 8/29-31 【受入上限数120名】
II-79	1B02281	異文化との対話—欧米 Humanitiesの愉しみ—	1	1.0	1・2	秋AB	月1	1H101	増尾 弘美	異文化とは、「異文化」と「自文化」の間に何らかの境界線が意識されるとき、初めてそこに成立するイメージである。私たちは日頃、いったいどんな境界線を引いて、どんな「異文化」を作り上げているだろうか？この授業では、私たちが「異文化」についてどんなイメージを持ち、どんな接し方をしているのか、翻訳やジャポニズムの歴史、日本やヨーロッパ、ロシアなどさまざまな文化圏における事例、さらには私たちの日常生活の中の異文化などをとりあげて、異文化との対話のあり方を検討する。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-80	1B02311	戦争と文化	1	1.0	1・2	秋AB	月1	1D204	海後 宗男	破壊を旨とする戦争をわれわれは、創造を旨とする文化の敵対者としてとらえがちである。だが、両者をたんなる対立関係においてしまうと、戦争がいかに文化と地続きであり、文化がいかに野蛮を内包しているかを、見落とすことになりかねない。この科目は、情報化学的視点からネット、メディア、映画やTV、さらには先端化学的視点からさまざまな人間のありようのなか、戦争と文化はいかにからみあい身を潜ませているのかを考える。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-81	1B03021	日本とは何かII	1	1.0	1・2	秋AB	月1	2B507	鈴木 伸隆	ひとくちに「日本文化」あるいは「日本文化の特色」といっても、その内実とは地域ごとに様々である。この授業では、人々の生活文化の多様性について文化人類学と地理学の立場から考察し、多様性に富む「日本文化」への理解を深める。	(日日開設) 日本語・日本文学類生の履修を認めない。 【受入上限数120名】
II-82	1B04101	法学入門	1	1.0	1・2	秋AB	月1	1H201	辻 雄一郎	日常生活とかかわる様々な法について概観し、法的なものの方を得ることができるようにする。講義のレベルは法学検定(毎年11月実施される法学の資格試験)のスタンダードのレベルである。	(社会開設) 【受入上限数200名】
II-83	1B17091	経営の科学III	1	1.0	1・2	秋AB	月1	3A403	生稲 史彦	生産管理(生産管理基礎、環境問題と現代生産美学)・人間・社会とIT(今後の要所であるITの進化に起因する企業経営や人間・社会のあり様の変貌と未来の展望)を説き、重要な問題点を認識し、社会の豊かさの考察を深める。	(社工開設) 【受入上限数120名】
II-84	1B24051	スポーツ技術を人文社会科学から考える	1	1.0	1・2	秋AB	月1	5C216	真田 久	スポーツの技術について、技術とは何か、ドーピングと倫理、スポーツとルール、スポーツの文化史、スポーツの学び方・教え方、スポーツと心理、日本人の技術観など、人文社会学的側面からアプローチする。	(体育開設) 【受入上限数120名】
II-85	1B01041	「知ること」とは何かII	1	1.0	1・2	秋AB	月2	共同利用棟 A101	千葉 建	学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではないか。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。	(人文開設) 【受入上限数120名】
II-86	1B01061	言語の万華鏡II	1	1.0	1・2	秋AB	月2	1C210	加賀 信広、大矢 俊明	世界規模で画一化が進む現代において言語文化の多様性を意識する意味はかつてないほど大きい。さまざまな言語文化を歴史的・社会的な視点から考察することにより、異文化を尊重し、相違を認め合う視点を涵養する。	(人文開設) 【受入上限数120名】
II-87	1B01101	西アジア文明学への招待	1	1.0	1・2	秋AB	月2	1H101	常木 晃	現在の西アジア地域は、世界政治や経済の不安定要素とされ、不可解、危険などというキーワードで語られることが多いのですが、イスラーム以前からの長大な歴史という視点から見つめ直すと全く異なる世界が広がります。この古い西アジア世界が達成した様々な伝統をここでは西アジア文明と呼んでいますが、そこではぐくまれた様々な革新的技術や新たな精神生活は、数千年後の私たちの生活する現代社会にまで大きな影響を与えています。この授業では、現代の人間社会の基層を創りだした西アジア文明について、歴史学や考古学、言語学、環境科学といった様々な分野の専門家が読み解いていきます。	(人文開設) 【受入上限数180名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
II-88	1B01121	民族の世界II—食文化と民族2—	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2B411	中野 泰	民族の世界IIでは、とくに東南アジア・中央・西アジア・ヨーロッパの食文化について考察する。私たち人間にとって生の根源である食とそれにまつわる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。世界各地の食文化を紹介しながら、「食」をキーワードに民族性やその背後にある文化にまで迫り、他者や異文化、そして自己を理解するための機会としたい。	(人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受入上限数120名】
II-89	1B02271	現代社会の基盤ができたとき—欧米の18~19世紀文学をととして考える—	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2H201	中田 元子	現代社会の基盤は、18~19世紀の欧米で形作られたといっても過言ではないだろう。たとえば、自然科学、近代医学、心理学、法律学、政治学、社会学、犯罪学などは、この時代に誕生している。また、テクノロジーの発展、知識の大衆化、女性の社会進出など、現代社会の問題と重なる部分も多い。そこで、この時期のドイツ、イギリス、アメリカの文学・文化を通して現代社会を考え直してみよう。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-90	1B04051	経済学への誘い	1	1.0	1・2	秋AB	月2	1H201	仲 重人	社会科学の中で唯一ノーベル賞の対象となるまでに発展してきた経済学について、できるだけやさしく解説する。理論、歴史、思想などの多角的な入り口から高度に専門的な経済学へと入門するための道しるべやヒントを提供する。	(社会開設) 【受入上限数120名】
II-91	1B05051	国際学を学ぶII	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A304	中野 優子	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶII」では、特に、文化・社会開発、情報・環境学の視点から論じる。総合的な理解を得るために、国際政治・国際法、経済学の視点から論じる「国際学を学ぶI」とあわせて履修することが望ましい。	*国際総合学類生の受講は認めない。 (国際開設)【受入上限数120名】
II-92	1B17011	経済学入門I	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A202	澤 亮治, 阿武 秀和	私達は日々の生活の中で必要な物やサービスを消費、あるいは提供している。私達の社会で誰が何をどれだけ物やサービスを消費・提供するかという問題は、市場によって行われる。本講義では、市場の動きを理解し、多くの事例に触れ理解を深める。	(社工開設) 【受入上限数120名】
II-93	1B24191	スポーツと文化	1	1.0	1・2	秋AB	月2	5C506	嵯峨 寿, 山田 幸雄	スポーツは、アメリカでは国民的娯楽と言われ、スポーツビジネスが発展し、テレビ番組のキラーコンテンツにあげられるほど人々の生活に深く浸透し、スポーツのスターの影響力は無視できない。この授業では、アメリカで誕生した野球やバスケットボールなどの特徴は何か、また、テニスやゴルフといった他国から伝播したスポーツやオリンピックの運営や人々の観戦などにどのような特徴があるかを、欧州や日本といった他文化・異文化との対比より考える。	(体育開設) 【受入上限数120名】
II-94	1B25031	デザインと社会	1	1.0	1・2	秋AB	月2	5C216	五十嵐 浩也	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについてデザインの可能性を探る。プロダクト、情報デザインの視点から授業を行う。	(芸術開設) 芸術専門学群学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】
II-95	1B26101	ダイバーシティスタディーズ入門	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A301	河野 禎之, 関根 久雄, 秋保 さやか	グローバル化の加速とともに、人種、民族、宗教、言語、身体的特徴、働き方など、多様な属性を備えた人々が入り混じるようになり、社会や組織のダイバーシティが否応なく高まっています。本科目では、このような現代社会が抱える諸問題への関心やその解決のための理解度を高めていくことを目指します。	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ダイバーシティ部門、教養教育機構企画) 【受入上限数80名】
II-96	1B03523	日本の地域社会見学実習	3	1.0	1・2	秋ABC	集中	2G305	加藤 晴美	本科目では、日本の地域社会を理解するうえで基本となるマチ(城下町・門前町など)とムラ(農村部)について、実地見学により考察を行う。つくば市内や東京都内とその近郊において実施する実地見学と教室での学習を通じて、日本の地域社会における歴史的・文化的な景観やそこに展開する生活文化の特色について学ぶ。	(日開開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。目的・日程・費用等はOEGLOCと日学類に掲示。人数制限あり。 【受入上限数30名】
II-97	1B02301	現代の文化と理論—現代文化を読み解くために	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	1H101	齋藤 一	現代文化を論じるために必要な基礎的な学際理論(現代思想、文化理論、社会理論、精神分析理論、ポストコロニアル理論、アメリカ脱構築理論など)を入門的に紹介しながら、それらを用いて、現代の文学・芸術・社会などのさまざまな文化現象について具体的に考察する。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
II-98	1B02321	宗教から見る現代世界	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	2B412	木村 武史	今日のグローバル社会は、宗教の意義・役割を抜きにしては十分に理解することはできない。しかも、「宗教」といっても実に多種多様な宗教があり、単純に一つの見方から考えるだけでは、その様々なレベルにおける影響を十分には捉えきることはできない。このような観点から、本講義では、現代世界で起きている出来事を「宗教」を通して見る視点を身につけることを目的とする。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-99	1B04121	市場と社会	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	1H201	仲 重人	社会を構成する個人の意思決定の集合が「市場」という場を経由してどのように一つのコミュニティの経済を成り立たせているのかを検討する。社会の在り方を経済という視点を通して観察する意義と楽しさを学ぶ。	(社会開設) 西暦偶数年度開講。 【受入上限数120名】
II-100	1B06021	学校を考えるII	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	2C404	磯田 正美、遠藤 優介	学校教育法上の学校における人間育成に注目し、教科・特別活動等の中でも特に教科教育内容にかかわることについて、授業を中心に今日学校が抱える諸問題を整理し、事例的に検討する。	(教育開設) 人間学群 学生の受講は認めない。受入れ上限数を100名とする。 【受入上限数100名】
II-101	1B26513	日本の産業・都市見学実習	3	1.0	1・2	通年	集中		辻 雄一郎	詳細が決定次第、各掲示板にて掲示する。	(社会開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。 交通費は参加者負担。

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。